

報道関係各位

2018年1月29日
国境なき医師団 (MSF)

地中海の遭難ボートから 99 人を救助——その他多数は溺死

地中海の洋上で 1 月 27 日、国境なき医師団 (MSF) と市民団体「SOS メディテラネ」は、沈没しつつあったゴムボートから 99 人の生存者を救助した。しかしゴムボートに乗っていた子どもを含む多数の人びとが行方不明となっており、溺死したものとみられている。救助された人のうち女性 2 人は死亡が確認された。

意識不明の人びとが次々と

救助活動は、MSF と SOS メディテラネが共同運航している捜索・救助船「アクエリアス」号によって行われた。同船が現場に到着したのは午前 9 時 30 分。既に数十人が海中におり、遭難者が乗っていたゴムボートもしぼみ始めていた。アクエリアス号の救助チームは救命艇で近づき、ボート上の生存者に救命胴衣を手渡し、海中の人びとを引っ張りあげた。

アクエリアス号では、MSF の医療チームが、6 人の幼児と 1 人の女性の蘇生に成功した。しかし努力もむなしく、溺れていた 2 人の女性は蘇生させられなかった。

治療にあたった MSF の看護師イーファ・ニ・ムルファーは、「ひどい光景でした。救急患者が次から次へと運ばれ、人びとは意識不明で呼吸をしていませんでした。亡くなった女性たちは幼い子どもの母親で、私たちは今、残された彼らの治療を試みているところです」と話す。

蘇生した幼児 6 人、および肺に水が入っている数人の女性を含む急患とその家族ら計 16 人はアクエリアス号からチュニジアのスファックスにイタリア海軍のヘリコプターで搬送された。MSF が診た他の症例は、多くの重度燃料やけど、および 12 人超の軽度から中等度の低体温症だった。またゴムボート内に漏れ出した燃料を吸い込んだ結果、多くの生存者が見当識障害を来たして混乱している。


以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平

TEL：03-5286-6141 携帯：090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org <http://www.msf.or.jp>

 メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ_Press